

授業科目	健康生活支援学特論				
担当者	藤岡重和・辻 郁・田坂厚志・足立 一				(オムニバス)
実務経験者の概要					
学科名	保健医療学研究科	学 年	1 年	総単位数	4 単位
		開講時期	後期	選択・必修	選択

■ 内 容

1. 感染予防や疾病予防は、健康増進と要介護状態を防止する基盤である。要介護状態に至る過程では体力のみではなく、生活機能を低下させた原因が存在する。その大きな要因が感染や疾病であることは自明である。この特論では、健康に生活し要介護状態に陥らないための病気にならない知識と方法論を学ぶ。感染予防では、疫学的、科学的根拠を提示し、感染症予防の理論と方法論を探究する。次に、各種の感染症について感染症予防の基礎を理解する。これらの学習を通じて、感染予防の観点から健康生活を支援できる知識を培う。
2. 健康増進や廃用症候群に関する原因及びリハビリテーションの科学的根拠について理解する能力を身に着ける。また、これらの知識を用いて健康の維持・増進や廃用症候群の予防について有効な運動療法や物理療法等について討議を行う。
3. 健康生活支援のひとつは生活の質の向上である。リハビリテーション及び作業療法の視点から生活の質の向上への理論と方法論を探究する。

■ 到達目標

- (藤岡) 各種感染症のメカニズムおよび予防法を理解する。
(田坂) 健康の維持・増進や廃用症候群の予防に関わるリハビリテーションについて理論的に理解する。
(足立、辻) 生活の質の向上のための支援方法を理解する。

■ 授業計画

- 第1回 感染症予防の理論と方法 1 (藤岡重和)
第2回 感染症予防の理論と方法 2 (藤岡重和)
第3回 感染症予防の理論と方法 3 (藤岡重和)
第4回 呼吸器感染症、消化器感染症予防 (藤岡重和)
第5回 尿路感染症、性感染症、皮膚、粘膜の感染予防 (藤岡重和)
第6回 人獣共通感染症、寄生虫感染予防、母子感染予防 (藤岡重和)
第7回 感染防御機構と予防接種 (藤岡重和)
第8回 院内感染対策 (藤岡重和)
第9回 健康の維持・増進に関わるリハビリテーション (田坂厚志)
第10回 廃用症候群の予防に関わるリハビリテーション (田坂厚志)
第11回 生活の質の捉え方と評価方法1 (辻 郁)
第12回 生活の質の捉え方と評価方法2 (辻 郁)
第13回 健康を支える理学療法士・作業療法士のための障害者スポーツ教育eラーニング (足立 一)
第14回 健康を支える理学療法士・作業療法士のための障害者スポーツ教育ニーズ別実習 (足立 一)
第15回 まとめとディスカッション (藤岡重和・辻 郁・田坂厚志・足立 一)

■ 評価方法

- (藤岡) 各講義での課題レポート 40% (各回レポートを100%で評価しその平均の40%) 口頭試問 10%
(田坂、足立、辻) 課題レポートと口頭試問を各々50%で評価し、最終評価は全講義数の割合で決定する

■ 授業時間外の学習 (予習・復習等) について

終了した講義について復習をしっかりとして下さい。

■ 教科書

--

■ 参考図書

適宜紹介する。

--

■ 留意事項

--

■ 講義受講にあたって

--